

基礎データ

【人口】 5,057人 (H21.2.28現在)
【世帯】 1,398世帯 (H21.2.28現在)
【面積】 約1,370ha
【公共施設】 中山保育園・小中山保育園・中山小学校
【史跡】 藤原古墳群・旧陸軍伊良湖試砲場跡
【主な産業】 農業・漁業

●校區自己紹介⑨

中山

校區の特色

中山校區は田原市の西北部に位置し、広大な農地と海岸を持ち、中山地区と小中山地区の大きな2つの自治組織で成り立っています。

主産業は農業と漁業で、どちらも時代と共に進化してきましたが、現在、それぞれに問題を抱えています。それでも、全国的に見れば後継者の多い地域であると思われる。豊川用水の通水と、比較的平坦な土地に恵まれ、農地は雨上がりでもすぐ仕事ができる畑で、年間を通じキャベツ栽培と施設園芸が盛んです。また、漁業が専業で生計を立てている世帯も多くを数えます。若者は通勤者が中心となっています。

緑に恵まれた自然環境の中で、スポーツやふれあい活動を進めています。



●福江漁港の正月風景

中山西湖院の伊左久衛

徳川五代将軍綱吉の時の天和元年、飢饉に苦しむ村を救わんと、庄屋伊左衛門と久衛門が領主に願

出たがかなわず、ついに公儀へ訴願。翌年、兩名は直訴の罪で獄死します。しかし、130年後の文化10年には、村に害虫が大発生し大恐慌が起こったため、翌年から兩名の霊を地主神と崇め、毎年2月と7月に村を挙げて盛大に『虫祭り供養』を営んでいます。

●虫祭り供養



てんぱっこクラブ

『てんぱっこクラブ』とは、私たちの校區2つの町(中山・小中山)の子どもに関するボランティア団体です。校區単位での活動は不慣れで戸惑いもありますが、学校単位で友達と一緒に参加できる子どもたちの笑顔、協力しあう両町の大人たちの姿を見ることができます。我が町愛も必要ですが、視野の広い大人に育ってほしいと願う私たちにとって、校區的の自慢できる団体にしたいと思います。



●キックドッチ大会

桜まつり [小中山児童公園]

毎年満開の桜の下で行われる「桜まつり」。ライトアップもあり夜桜を楽しむこともできます。公園付近には陸軍の施設跡(射場、油脂車庫、気象観測兼展望場・射場の門柱)が残っており、当時を垣間見ることができます。また、地域の人に親しまれてきた田戸神社も隣接しており、春の日に散歩しがてら、歩いてみるのもいいかも…。



●桜まつり

小中山の奇祭“かあか”

秋祭りの宵、地区の諸社で“かあか”があります。主役は男児で、参道に列座し、板を打ち鳴らし「お白餅食いたいカーカー」と叫びます。参拝者は用意したお白餅を供えて回り、氏神や区内の各社を巡拝します。

(文:中山校區)



●かあかまつり